

JAM業種別部会 2024年度合同労使研修会 於 富山

使側へ春季生活闘争方針を説明



開会冒頭に、能登半島地震で亡くなられた方々へ黙とう



賃上げには価格転嫁が必要と安河内JAM会長



富山県ゆかりのモーリー・ロバートソン氏

JAM業種別部会(全15)のうち7部会が、全体研修会、各部会代表者会議・労使会議、使側へのJAM春季生活闘争方針説明などを行った「業種別部会 2024年度合同労使研修会」を1月26~27日に富山県「ボルファートとやま」で開いた。会に先立ち、能登半島地震で亡くなられた方々へ黙とうを捧げた。(写真上)

JAMを代表して安河内会長は、能登半島地震で被災された方々へのお悔やみとお見舞い。連合組合員が3人亡くなられ、JAM組合員の家族が亡くなられたこと、3週間以上が経ってもまだ現地にボランティアを送ることができないことなど悔しい思いを語った。また「賃上げをするには価格転嫁が必要である。これだけ価格転嫁が世の中に注目されてきたのは、JAMの仲間の皆さんが勇気を出して現場の現実を我々に伝えていただいた。その声が時代を動かしたと思っている。しかしながら、まだまだ道半ばである。

『郡山りょう』は皆さんの声で育てて、皆さんの声で国会へ送れると確信している。これからも多くの激励で『郡山りょう』を育ててほしい」などと

あいさつした。

全体研修会ではテレビ等でお馴染みのモーリー・ロバートソン氏(国際ジャーナリスト)から「今、世界で日本で何がおきているのか? メディアでは伝えきれない本当のこと」と題し、現在の海外や日本の動きを説き、これからの日本ではどのような考え方が必要となるのかなど、モーリー氏独自の視点で分かりやすく論説した。

使側へのJAM春季生活闘争方針説明では安河内会長が説明し、労側は部会ごとにそれぞれ代表者会議を開き、経営状況、春季生活闘争の準備状況などを共有した。

JAM準組織内参議院議員の森本真治議員からはメッセージ、同・村田享子議員からはWebで国政報告と激励のあいさつ、2025年参議院選挙・郡山りょうJAM組織内候補予定者は全国巡回中の埼玉県からWebを繋ぎあいさつした。



Webであいさつする郡山りょう氏